

06 知識・技能を身に付ける

取組事例

25

身近な樹木から学ぼう

～ 身近な樹木と私たちのくらしのつながり ～

津市立栗真小学校国児分校・一身田中学校国児分校 小学6年生、中学1～3年生



敷地に生える樹木について学んでいる様子

実施時期	令和6年8月
実施場所	多目的室
時間	3時限
対象・人数	小学6年生及び中学1～3年生 16人
講師	森のせんせい1人（出口省吾氏）
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林教育出前授業

めざす姿

06 知識・技能を身に付ける

（03興味・関心を持つ、04違いに気づく、08地域の課題に目を向ける）

ねらい

敷地内に生える木の魅力を知り、その木を使ったスプーンづくりの体験を通して、木と私たちの生活との関わりについて考える

内容

- ・敷地内に生えるクスノキ、クロマツ、アカマツの特徴や他の生き物との関わり、私たちの生活との関わりについて学ぶ
- ・敷地内に生えるクスノキでスプーン作りをする体験を楽しみ、木の香りやぬくもりを感じ、木の利用と私たちの生活との関わりについて考える

学習指導要領との関連

森林と人々のくらし（小学5年生社会科）

面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、身の回りの生物・植物の体のつくり（根・茎・葉）（小学3年生理科）、森林資源のはたらき・森林資源と木材生産（小学5年生社会科）、植物の発芽・成長・結実（小学5年生理科）、食物連鎖（小学6年生理科）、創作活動（小学4～6年生図画工作）、持続可能な社会の構築（中学校技術・家庭）、自然を大切にすることの意義（中学校道徳）



スプーンづくりで作った作品



森林と私たちの生活とのつながりについて学んでいる様子

子どもの反応

- ・木でいろいろな物が作れることにびっくりしました。
- ・木で物を作るっておもしろいと思いました。
- ・マツの木には、防風などいろいろな働きがあり、僕もマツを植えたくまりました。
- ・地球温暖化が話題になっている中で、木などを増やすことで、二酸化炭素を吸ってくれるという働きがあるので、校内の木はそのはたらきがあるのだから良いと思いました。
- ・校内に生えているクスノキやマツの木は人にとって良い役割があったのだと思いました。木を伐った後は、作れるものがないかを考えて、できるようにしたいと思いました。

学校のコメント

- ・自分たちの生活する学園内の木に興味関心が向けられるようになったと思います。学園内の木を使って授業を考えていただいたことがすごくよかったです。
- ・森や木の話だけでは、子どもたちは知識の素通りだったかもしれませんが、敷地内の木で自分のスプーンを作ることで、より今の環境について思いを巡らせたのではないかと思います。
- ・社会科、地理的分野、日本の農林水産業や中部、近畿地方での自然環境などの授業に活用していきたい。